



Fast Retailing Sustainability Book 2019

FAST RETAILING WAY

服を変え、 常識を変え、 世界を変えていく

Mission

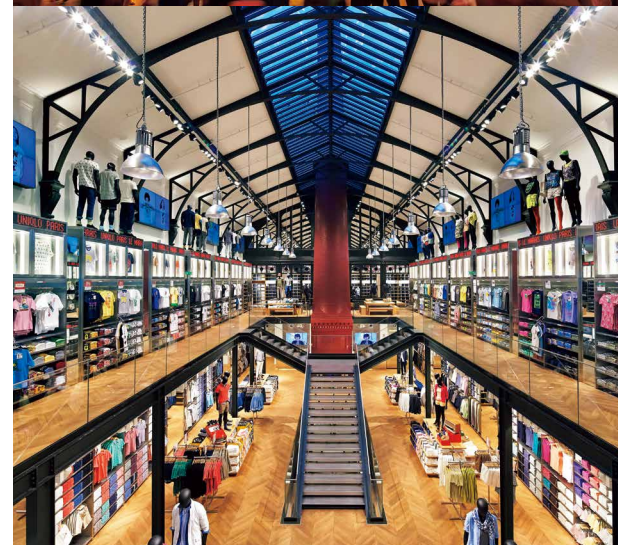
ファーストリテイリンググループは——

本当に良い服、今までにない新しい価値を持つ服を創造し、

世界中のあらゆる人々に、良い服を着る喜び、幸せ、満足を提供します

独自の企業活動を通じて人々の暮らしの充実に貢献し、

社会との調和ある発展を目指します



ファーストリテイリングについて

ファーストリテイリングは、ユニクロ、ジーユー、セオリーなど、さまざまなブランドを世界中で展開しています。私たちがめざしているのは、人々の生活も社会も豊かにする服を、世界中のお客様にお届けすることです。服のビジネスを通じて、より良い世界と未来の創造に貢献していきます。

売上収益

2兆1,300億円

店舗数

3,445店舗

従業員数

124,679人

ユニクロの生産事務所

6拠点

取引先縫製工場数

612工場

労働環境モニタリング対象工場

2018年8月31日現在



人々の生活をより豊かに、より快適にする究極の普段着「LifeWear」がコンセプト



「YOUR FREEDOM 自分を新しくする自由を。」がコンセプト



Theory

洗練されたコンテンポラリーなファッションを提案



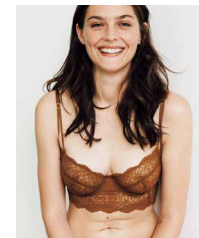
HELMUT LANG

素材・デザインにこだわりシンプルでエッジの効いたリアルクローズ



COMPTOIR DES COTONNIERS

フランスのエスプリが効いた自然体で飾らないファッション



PRINCESSE tam・tam PARIS

独創的なプリントと鮮やかな色彩が特長のランジェリーブランド



P L S T

素材・着心地・着こなしにこだわった「最上質の日常着」がコンセプト



J BRAND

ロサンゼルス発プレミアムデニムが人気のブランド



ソーシャルビジネスとして Bangladesh で展開



CEOメッセージ

“成長する。そして、子どもたちと
若い世代のためにより良い世界を創る”

株式会社ファーストリテイリング
代表取締役会長兼社長

柳井 正

今、私たちが考えるべき最も重要なことは何でしょうか。
それは世界が今後、さらに成長し、子どもたちと若い世代がより幸せな生活を送るための
新しい方法をつくり出すことだと、私は思います。

貧困や難民問題、人種差別、テロ、地域紛争、気候変動、資源の枯渇など、世界には深刻な問題が山積しています。
人類そのものの生存自体が危ぶまれる状況です。
これまでの発想を変えなければならない。過去の延長線上に未来はありません。

グローバルに事業を展開する企業として、社会の要請に応え、課題の解決に取り組むのは当然のことです。
私たちは社会に、そしてすべてのステークホルダーにとって「本当に良いこと」をしているか、
常に自らに問いかけ、正しいと信じたことを実行してきました。その姿勢は今後も変わりません。

しかし、企業の使命を考えたとき、それだけでは明らかに不足しています。
最も重要なのは、常に新たな可能性にチャレンジし、成長し続けることです。
過去の常識にとらわれず、ビジネスのやり方をゼロから変え、事業そのものを通じて世界をより良いものにしていく。
そういう挑戦を私たちは続けます。

その一つの表れがLifeWearという私たちのコンセプトです。
LifeWearとは、
人種、年齢、民族、宗教、性別や性的指向を超えた、MADE FOR ALL「あらゆる人のための服」、
人々の生活をより豊かに、より快適に変える服。

LifeWearは、ファッションという概念を超えた、新しい発想の服です。
無駄なものをそぎ落とし、自分らしい高品質な生活を実現する。
その根本にある考え方は「無駄なものをつくらない、選ばない、売らない」。
資源を有効に使い、余計な労働を生み出さない。
物流や在庫の無駄をなくし、お客様にとって最も便利で効率的な方法で、お客様の求める商品をお届けする。
これが私たちの挑んでいることです。
まだまだ足りないことだらけですが、正しい方向に進んでいると確信しています。

私たちのサステナビリティステートメント「服のチカラを、社会のチカラに。」は、
このLifeWearの考え方を中心にすえたものです。
取り組むべき重点領域として「商品と販売を通じた新たな価値創造」「サプライチェーンの人権・労働環境の尊重」
「環境への配慮」「コミュニティとの共存・共栄」「従業員の幸せ」「正しい経営」を定めました。
私たちはこれらの実現に真剣に取り組んでいます。

「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」
これはファーストリテイリンググループのステートメントです。
まず、自ら変わり、世界を変える。私たちは時代を超え、国境を超え、世界のあらゆる人々に
服を着る喜び・幸せ・満足を提供し続けることで、より良い世界の実現に全力を尽くすことを約束します。

服のチカラを、 社会のチカラに。

よい服をつくり、よい服を売ることで、
世界をよい方向へ変えていくことができる。
私たちは、そう信じています。

よい服とは、シンプルで、上質で、長く使える性能を持ち、
あらゆる人の暮らしを豊かにできる服。
自然との共生を考え、
つくられる過程で革新的な技術を使い、
地球に余計な負荷をかけない服。
健康と安全と人権がきちんと守られた環境で、
いきいきと働く多様な人々の手でつくり届けられる服。
そして、よりよい社会を願うお客様と共に活動し、
地域との共存共栄を目指していく。

私たちは、服のビジネスを通して、
社会の持続的な発展に寄与できるよう、
新たな基準をつくり、
不断の努力をもって進めていくことを約束します。

「人権」と「環境」への対応

サステナビリティステートメントに則して確実にファーストリテイリングの活動を実施していくためには、特に人権や環境など、国際社会に共通する普遍的な課題に取り組むことが不可欠です。私たちはグローバルに事業を展開するアパレル製造小売業として、世界各地でさまざまな影響をおよぼしていると認識しています。国連グローバル・コンパクトや持続可能な開発目標 (SDGs)をはじめとする国際的な原則や目標を支持、尊重し、あらゆるステークホルダーと対話を重ね、人権や環境に関する課題に積極的に取り組んでいきます。

人権

私たちは、自社とサプライチェーンで働くすべての人、また、私たちの事業の影響を受けるすべての人の人権を尊重し、心身の健康や安心・安全を確保することは、最重要の責務の一つであると考えています。

2018年6月、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」をはじめとする国際基準に則り、「ファーストリテイリンググループ 人権方針」を定め、公開しました。人権方針では、特に私たちが大きな影響力を持つ領域を「従業員」「サプライチェーン」「お客様」に設定し、問題が発生した場合の対処や社内の教育活動、社外とのコミュニケーションのあるべき姿を定めています。また、同年7月には、人権方針にもとづく人権尊重の責務が果たされ、その業務執行が適正に行われるように助言・監督を行う「人権委員会」を設置しました。

環境

服の生産や店舗運営などを通じて、私たちは、商品の原材料をはじめとするさまざまな資源を利用し、電力などの使用に伴う温室効果ガスや廃棄物なども発生させています。こうした課題を認識し、無駄をなくすことや、イノベーションを通じて環境問題の根本的な解決をめざすことが、コストの削減のみならず、新たな市場の創造など、ビジネスチャンスを生み出すことにもつながります。

2018年6月には「環境方針」を改定し、公開しました。新たな環境方針では、5つの重点分野「気候変動への対応」「エネルギー効率の向上」「水資源の管理」「廃棄物管理と資源効率の向上」「化学物質管理」を設定し、自社、サプライチェーン、商品の使用・廃棄で発生する環境負荷を、どのように削減していくかの方向性を定めています。

経営戦略として 6つの重点領域を特定

ファーストリテイリング(FR)グループは、「世界No.1のアパレル情報製造小売業」になることを目標に掲げています。その実現のためには、FRグループの成長とともに、社会が持続的に発展し、地球環境が保全されることが前提条件と考えています。FRは経営戦略の一環として、サステナビリティ活動のなかで6つの重点領域を特定し、各領域で目標やコミットメントを掲げ、その達成に向けた活動を行っています。

重点領域の特定プロセス

4つのプロセスを経て、重点領域の特定を行いました。

- 1 **課題項目を抽出**
 国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)やESG投資の調査機関が求める指標、GRI(Global Reporting Initiative)ガイドラインなどを参考にして、FRグループが持続的に成長するための課題の把握と特定を行いました。
- 2 **課題の優先順位づけと妥当性の確認**
 FRグループにおける重要度と、ステークホルダーからの期待や影響を踏まえて、課題の優先順位づけを行いました。そのプロセスは、社外有識者や社外取締役、社内関連部門からのヒアリングをベースにしました。
- 3 **重点領域の特定**
 サステナビリティ委員会での議論を経て、6つの重点領域を特定しました。サステナビリティ委員会は、サステナビリティ担当役員が委員長をつとめ、委員は社外有識者、社外取締役、社内取締役、常勤監査役、執行役員で構成しています。FRグループのサステナビリティの方向性や具体的な活動について討議しています。
- 4 **アクションプランと実行**
 重点領域ごとに任命した執行役員のもと、アクションプランを策定し、複数のプロジェクトを開始しています。プロジェクトごとに目標と期限を決め、その達成に向けて実行しています。

サステナビリティ活動における6つの重点領域



Fast Retailing Sustainability Book 2019

CONTENTS

- 02 **FAST RETAILING WAY**
(ファーストリテイリンググループ企業理念)
- 04 **ファーストリテイリングについて**
- 06 **CEOメッセージ**
- 08 **サステナビリティステートメント**
- 10 **経営戦略として6つの重点領域を特定**
- 12 **重点領域 1 商品と販売を通じた新たな価値創造**
- 16 **TOPICS 1 「本当に良いジーンズ」を追求する**
- 18 **重点領域 2 サプライチェーンの人権・労働環境の尊重**
- 22 **TOPICS 2 働くすべての人の幸せをめざして**
- 24 **重点領域 3 環境への配慮**
- 28 **重点領域 4 コミュニティとの共存・共栄**
- 32 **重点領域 5 従業員の幸せ**
- 36 **重点領域 6 正しい経営(ガバナンス)**

編集方針

株式会社ファーストリテイリングが発行する本冊子は、ファーストリテイリンググループの事業活動に伴う社会的責任を踏まえて、企業姿勢とサステナビリティ活動をわかりやすくまとめたものです。詳細情報については、ファーストリテイリングのウェブサイトをご覧ください(www.fastretailing.com)

報告対象範囲

原則としてファーストリテイリンググループ(株式会社ファーストリテイリングおよび国内・海外事業会社)を対象とし、異なる場合は個別に対象範囲を記載

報告対象期間

2017年9月から2018年8月
 ※本冊子掲載数値は、特に記載のない限り、会計年度での実績を開示
 ※特に重要な報告事項は、可能な範囲での最新情報を開示

発行

2019年1月(次回2020年1月予定)

免責事項

本冊子には、株式会社ファーストリテイリングとそのグループ会社の過去と現在の事実だけではなく、発行時点における計画や見直し、経営方針・経営戦略にもとづいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報にもとづいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります



1

商品と販売を通じた新たな価値創造

ファーストリテイリングの使命は、あらゆる人々に、良い服を着る喜び、幸せ、満足を提供することです。主力ブランドであるユニクロは、機能性肌着のヒートテックのように、これまでにない「新しい価値を持つ服」を創造してきました。これからは、機能性や品質だけでなく、社会課題や環境問題の解決に向けた貢献が求められています。私たちは、自社の強みを活かし、服のビジネスを通じて、サステナブルな社会の実現に貢献します。



ユニクロのメンズレギュラーフィットジーンズ。サステナブルな新技術で生産し、環境負荷低減に貢献（16～17ページ参照）

高品質、高機能、さらなる挑戦。 服のビジネスを通じて サステナブルな社会を実現する

課題認識

服は、コットンやウール、石油などの原材料を必要とし、生産工程でも、水や電力、燃料などを使います。また、使用時には、洗濯する際に多くの水やエネルギーを使います。

世界中で原材料を調達し、服を生産し、販売しているファーストリテイリング (FR) グループには、限られた資源を有効に活用することや、原材料調達から服を着なくなった後まで、社会や環境への影響に配慮した商品やサービスを提供することに、責任があるのです。

考え方

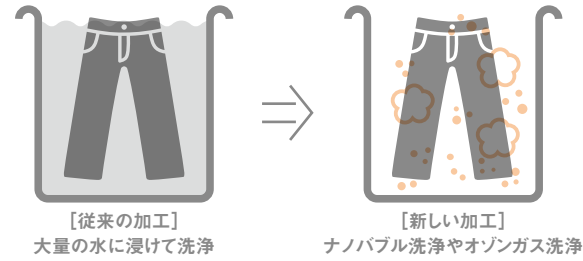
倫理的な原材料調達(動物愛護、環境配慮、綿農家への配慮など)を行うことで、お客様に安心して着いただける商品をお届けします。また、取引先工場

との強固なパートナーシップのもと、社会や環境に配慮した生産工程を大規模に導入していきます。さらに、画期的な商品を開発する力と、世界中に広がる店舗ネットワークを活かし、地球環境に負荷をかけない、商品やサービスの提供をめざします。

重要活動

- サステナブルな原材料を採用
- サステナブルな商品の開発
- お客様の声による商品改善
- 徹底した品質・安全管理
- 「全商品リサイクル活動」(31ページ参照)
- ソーシャルビジネスの推進(31ページ参照)

▶ ジーンズに風合いを加えるためのウォッシュ加工



▶ 新加工技術で削減できるジーンズ加工時の水使用量



▶ サステナブルなコットンの調達比率目標



[Good Wool by Theory] コレクション

2018年度の活動

[サステナブルな商品の開発]

FRは、自社のジーンズ研究・開発施設「ジーンズイノベーションセンター」で、ジーンズの加工工程における水使用量を最大99%、平均90%以上(※ユニクロの2017年メンズレギュラーフィットジーンズと2018年同型商品を比較)削減する技術を開発。また、従来は手作業で行っていた擦り加工を、レーザー加工に変更することで、取引先工場の従業員の負担も軽減しました。これらの新技術や加工方法の変更は、2018年秋冬シーズンから、ユニクロやJ Brandの一部のジーンズに導入されました。2020年までには、FRグループが生産するすべてのジーンズに新技術を導入し、環境負荷の低減をめざします(16～17ページ参照)。

[責任ある原材料の調達]

FRでは、倫理的かつ責任ある方法により、原材料を調達しています。サステナブルなコットンの調達比率は、2025年末までに100%にすることをめざしています。2018年1月には、綿農家に対して水や農薬の使用についての教育などを行うNGO「ベター・コットン・イニシアティブ」に加盟。植物や木材を原材料とするレーヨンなどのセルロース繊維は、原材料のトレーサビリティを確保する取り組みを進めています。また、動物愛護の観点から、FR全ブランドにおいてリアルファーの使用を禁止するなどの取り組みも推進。セオリーでは動物愛護や環境に配慮したコレクション「Good Wool by Theory」を販売しています。



ジーンズのウォッシュ加工における水使用量を削減するウォッシュマシン

TOPICS 1

「本当に良いジーンズ」を追求する

イノベーションが創る新しいジーンズの価値



ジーンズイノベーションセンター
ディレクター

松原 正明

2016年、ファーストリテイリング (FR) が「ジーンズの価値観を変える」ことを目的に設立した研究・開発施設「ジーンズイノベーションセンター」。私たちは、デザインや快適さだけでなく、環境に配慮し、生産工程に関わる人々の人権が守られた工場で作られたジーンズこそが、良い商品であると信じています。そして、その良いジーンズづくりを追求することが、サステナブルな社会の実現につながると信じています。

イノベーションとは 削減ではなく ゼロにすること

センターのある米国のカリフォルニア州は雨が少なく、2012年からは干ばつが続き、水は命という実感があります。そこで、私たちがまず着目したのが、水資源の問題でした。なぜなら、ジーンズの生産には大量の水が必要だからです。原材料となる綿花の栽培、糸を染め上げる工程、風合いを出すウォッシュ加工。それぞ

れに水を使いますが、特にウォッシュ加工は、完成したものをわざわざ大量の水を使って洗い、色落ちや風合いを出すという工程です。まずは、この工程の無駄を徹底的に省くことに取り組もうと考えました。

私たちのターゲットは、水の使用量を限りなくゼロにすること。10%、20%削減という考え方では、この難しい課題を解決するイノベーションにはつながりません。そのためには、最先端の英知を結集させる必要がありました。ここには、そのための知恵も情報も集まっており、そこから導き出すイノベーションを実現化することが、私たちの仕事なのです。

実際にセンターでは高性能のウォッシュマシンを導入して、そこに新たなテクノロジーを加えていくことで、独創的な洗い方を開発しました。このマシンは、ジーンズを水に浸けて洗うではありません。中心となるのは、ナノバブル洗浄と、水を使わないオゾンガス洗浄の組み合わせです。それぞれの洗浄の性能には、得意不得意がありますが、用途によって使い分けて、結果として水の使用量をゼロに近づけるというものです。2年間の研究開発を経て、ジーンズのウォッシュ加工工程の水使用量を、最大99%、平均90%以上 (※ユニクロの2017年メンズレギュラーフィットジーンズと2018年同型商品を比較) 削減することに成功しました。

働く人の安全を守り 良い未来をともにつくる

サステナブルなジーンズづくりを実現するためには、工場働く人にも配慮が必要です。薬品を吹きつけたり、こすったりして、穴を開けるようなヴィンテージ加工は、手作業で、くずも出るので、環境にも、働く人にもよくありません。私たちは、この工程にレーザーを使った最新のテクノ



ロジーを導入することで、環境や働く人にとっての負荷を減らし、品質を一定に保てるという効果を実現しました。また、ヴィンテージ加工で使われてきたストーンウォッシュも、天然の軽石から人工のエコストーンに変えました。自然石では2、3回



新しく開発されたレーザーによるヴィンテージ加工

洗うだけで新しい石が必要になりますし、粉が出て、くずになる。エコストーンは、2年間使用しても粉はほぼ出ませんし、効果も変わりません。

圧倒的なスケールで、 世界にサステナブルな 新しい価値観をつくる

私たちの取り組みは、FRグループでの商品化を前提としているので、

どこよりもリアリティのある研究だと自負しています。そして、圧倒的な、世界でも屈指のスケールのなかでアプローチができる。取引先工場とは日頃から密にコミュニケーションを取っているため、理解力も高く、未来の商品について具体的な話ができるから、推進力も強い。これらは、私たちならではの強みであり、同時に世界へのインパクト

と責任も大きいと考えています。私たちの研究はまだ第一歩を踏み出したばかりです。今後も、お客様にとっても、取引先にとっても、そして地球環境にとっても、本当に価値のある良い商品をつくり、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。



センターでは日々、ジーンズの研究・開発が行われている

2

サプライチェーンの人権・労働環境の尊重



サプライチェーンで働くすべての人の人権を尊重し、安心・安全な労働環境を確保することは、服を通じて人々の暮らしを豊かにすることをめざすファーストリテイリングにとって、最優先課題の一つです。私たちは、取引先工場との強固なパートナーシップのもと、従業員の人権や労働環境に配慮し、高品質な商品を生産することを、共通の理念としています。

ユニクロの服を生産している、中国の取引先工場の従業員

2 サプライチェーンの人権・労働環境の尊重

人権を尊重し 安心・安全に働ける環境を 強いパートナーシップで実現する

課題認識

ファーストリテイリング(FR)グループは、さまざまな国や地域で服づくりを行っており、そのサプライチェーンも世界各地に広がっています。取引先工場で働く人々の人権を尊重し、心身の健康や安心・安全の確保をすることが、最も大切だと考えています。

考え方

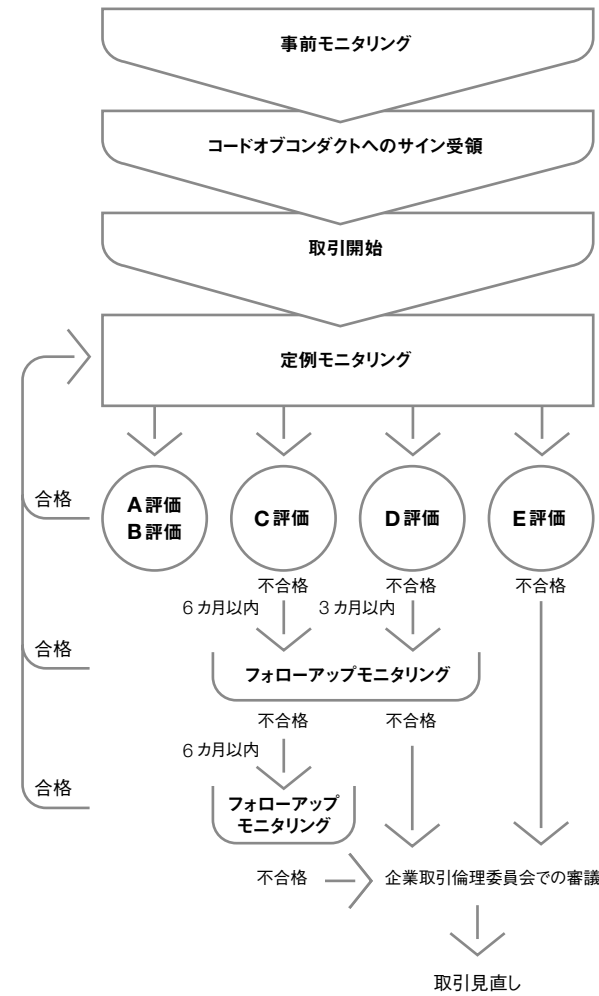
FRは、取引先工場の従業員の人権や労働環境を守るために、すべての取引先工場に「生産パートナー向けのコードオブコンダクト」の遵守を要請し、労働環境モニタリングを実施。取引先工場とともに、強固なパートナーシップを結び、課題の解決に取り組んでいます。また、FRでは「責任ある調達方針」を策定し、適切な手順による発注を徹

底。これにより、急な増産などによる取引先工場の労働時間の増加防止を図っています。これらの取り組みにあたっては、NGOなどのステークホルダーと密にコミュニケーションを取り、それぞれの活動を推進しています。さらに、サプライチェーンに関する情報の適切な開示にも努めています。

重要活動

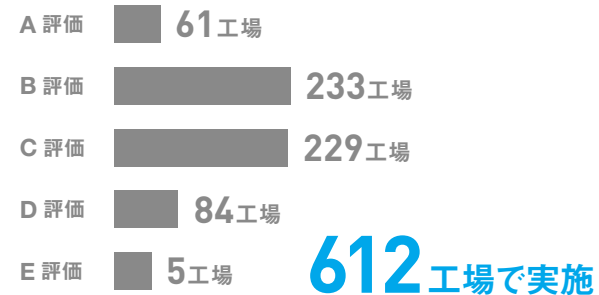
- 「生産パートナー向けのコードオブコンダクト」の遵守の徹底
- 外部業界団体との連携
- 取引先工場の労働環境モニタリング
- 苦情処理メカニズムの導入
- 責任ある調達の推進
- 主要取引先工場リストの開示
- NGOや労働組合などとの対話

▶ 労働環境モニタリングの仕組み



▶ 労働環境モニタリングの結果

(ファーストリテイリンググループ、2018年度)



2018年度の活動

[労働環境モニタリングの実施]

FRは、取引先工場を対象に、労働時間の管理、賃金の支払いなどの項目を監査し、評価結果を開示しています。監査は第三者機関が定期的実施しており、改善が必要な場合は、必要に応じてFR従業員が直接訪問し、取引先工場とともに改善活動に取り組みます。2018年度は、612工場を対象に実施しました。なお、新規工場については事前モニタリングを実施し、合格した工場と取引を開始しています。

[ホットラインの設置]

取引先工場における人権と労働環境に関する問題を早期に把握し、解決するために、取引先工場の従業員が直接FRに相談できるホットライン「ワーカー相談プログラム」を、上海、ホーチミン、ダッカ、ジャカルタ、東京などに設置しています。

受けつけた相談内容については、まず事実確認を行います。その上で「生産パートナー向けのコードオブコンダクト」、国際基準、現地労働法などをもとに、FRのサステナビリティ部と生産部が中心となって、是正や改善を取引先工場に要請し、工場の人権問題や労働環境の改善につなげています(22～23ページ参照)。



取引先工場の敷地内にある公園でくつろぐ従業員

TOPICS 2

働くすべての人の幸せをめざして

本当の声を聞き、人権を尊重し、労働環境を守る



株式会社ファーストリテイリング
サステナビリティ部 部長

Veronique Rochet

(ベロニク ロシェ)

サプライチェーンで働く人の本当の声を聞き、改善につなげる

国連が提言した「ビジネスと人権に関する指導原則」には、国家が人権を保護する義務、企業が人権を尊重する義務、そして、人権侵害が発生してしまった場合の救済措置が規定されています。社会からの期待として、企業には、従業員だけでなく、お客様、取引先、サプライチェーンで働く人など、あらゆるステークホルダーの人権侵害の防止と軽減に努め、人権侵害が発生

した場合には、被害者を救済するための、ホットラインなどの苦情処理メカニズムを運営することが求められています。

ファーストリテイリング (FR) は以前より、労働環境モニタリングを通じて、取引先工場内に苦情処理メカニズムが存在しているかを確認してきました。しかし、労働環境モニタリングや工場内の仕組みではカバーできていない事象ももちろん考えられます。既存の仕組みでは把握しにくい工場従業員の声に応えるために、2017年、FRが電話やメールなどで従業員から

の相談を直接受けつけるホットライン「ワーカー相談プログラム」を開設しました。まずは、主要な縫製工場を対象に導入しています。

人権の尊重と労働環境の整備が、パートナーシップをより強固にする

相談があった場合、匿名性や機密性は確保した上で、慎重に事実確認の調査を行い、解決方法について検討します。運用開始後、実際にホットラインに寄せられた声のなかには、これまでの労働環境モニタリングでは把握できなかった内容も含まれていました。たとえば、生産現場を管理するスーパーバイザーの態度が不公平であるとか、上司と話

す言語が異なるためにコミュニケーションが取りづらく、正当に評価されない、などです。また、賃金や労働時間などについての規則の誤解によって生じている相談もありました。FRは当該取引先工場に是正や改善を求め、工場は必要な対話機会の提供やト

このホットラインを通じて、従業員の本当の心配ごとや問題解決に向けて、取引先工場とともに取り組みを進めています。工場にとっても、これまで知りえなかった従業員の考えを知り、より良い労働条件の提供に努めることで、事業にも確実にプラスになります。

また、万が一、極めて深刻な人権侵害に対し、取引先工場が是正勧告に応じない場合は、社外有識者を委員長とするFRの人権委員会で審議を行った上で、対処する仕組みも整えています。

私たちは、このホットラインをは

じめとするさまざまな取り組みを通じて、制定した人権方針に対し、単に言葉だけではなく、しっかりとそれを行動に移して実行していきます。



レーニングを実施しました。今後は、より多くの声を迅速に把握するために、ホットラインや既存の仕組みの見直しと改善に取り組んでいきます。



クリスタルグループ
常務取締役 ニット部門統括責任者

Dennis S. W. Wong
(デニス エス ダブリュ ウォン)

VOICE 人権尊重を現場で実践する

アパレル産業は、伝統的に人が支えている産業です。クリスタルグループの「Caring for People(人を大切に)」という考え方は、企業文化のなかにしっかりと根づいています。「人」を大切にすることこそが、企業が持続的に成長するための鍵であると、経営陣も考えています。

そのためには、従業員の声に耳を傾け、迅速に課題を把握することが非常に重要です。工場がFRのホットライン「ワーカー相談プログラム」に参加することで、工場の仕組みがより民主的なものになり、人権尊重の取り組みが、よりリアリティを持って実践され、意義あるものになると実感しています。

私たちは、このホットラインがFRのサプライチェーン全体に一貫して導入され、FRが工場とともに適切な救済措置を実行し、人権侵害行為を防止・軽減していくことを期待しています。

3

環境への配慮

ファーストリテイリングは、服の素材調達から生産まで、すべての工程を視野に入れ、環境への負荷低減に取り組んでいます。事業活動全般を通じて、取引先などと協働しながら、自社とサプライチェーンにおける無駄をなくし、お客様が着なくなった後も服を無駄にしない、循環利用の取り組みを推進します。



写真上：左から、ユニクロ有明本部での企画会議、 Cottonの原材料である綿花、取引先素材工場での化学物質検査、ユニクロ店舗のLED看板
写真下：左から、染色工程などからの排水を処理する取引先素材工場の浄水場、ユニクロ店舗にある衣料回収ボックス、ドイツユニクロがお客様と取り組む地域清掃活動

3 環境への配慮

日々のビジネスのなかで あらゆる無駄をなくし 地球への影響を最小限に

課題認識

企業が、環境にまったく影響を与えずに事業活動を行うことは不可能です。ファーストリテイリング(FR) グループにおいても、店舗の照明はもちろん、商品の生産や物流などにおいてエネルギーを使用し、温室効果ガスを排出しています。原材料となる綿花の栽培や生地の染色・加工の際にも、水や、農薬・染料などの化学物質を使用します。

私たちは、グローバルに事業を展開するアパレル企業として、気候変動、エネルギーや水などの資源、廃棄物、化学物質といった課題を、特に重要なテーマとして設定し、取り組んでいます。

考え方

FRは、取引先などとの協働や革新的な技術を通じて、自社とサプライチェーンに

おける無駄をなくします。また、資源の有効活用を促進し、お客様が着なくなった服を無駄にしない、循環利用の取り組みも推進します。

これらの課題を確実に解決していくため、国際社会で合意された長期目標を尊重し、関連する国際機関および外部団体などとのパートナーシップの構築と対話を通じて、取り組みを加速させます。

重要活動

- 気候変動への対応
- エネルギー効率の向上
- 水資源の管理
- 廃棄物管理と資源効率の向上
- 化学物質管理

環境活動目標

▶ 2020年度末までの国内ユニクロ店舗における温室効果ガス排出量削減目標
(2013年度比、単位面積あたり)



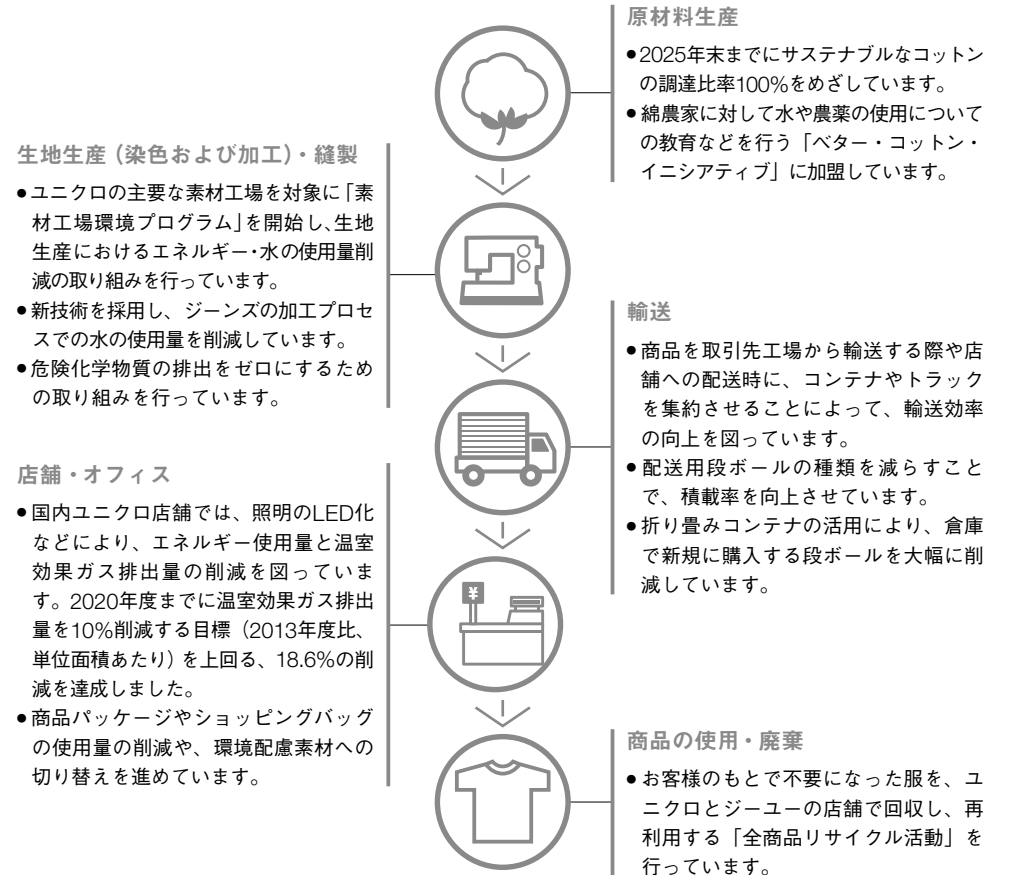
▶ 2020年までの素材工場環境プログラム目標
(2016年実績値の、水は15%、エネルギーは10%にあたる量を削減)

▶ 2020年までに
危険化学物質の排出ゼロ



2018年度の活動

▶ 商品のライフサイクルにおける環境配慮への取り組み



4

コミュニティとの共存・共栄



グローバルに事業を展開するファーストリテイリングは、世界のさまざまなコミュニティのなかで生かされている存在であり、コミュニティの発展への貢献は重要な責任だと考えています。私たちは、地域コミュニティとの共存・共栄をめざし、自社が持つ店舗・人材・商品・ノウハウなどを活用した活動を積極的に行い、サステナブルな社会の実現に貢献します。

写真左：米国ユニクロは地域の子どもたちが難民問題への理解を深めることを目的に、難民の子どもたちに贈るカード製作のイベントを開催
写真右：コロンビアで実施した「全商品リサイクル活動」による難民と移民への衣料支援

4 コミュニティとの共存・共栄

世界中で服のチカラを活かし コミュニティとともに より豊かな未来の実現をめざす

課題認識

国際社会は、貧困、難民問題、人種差別、テロ、地域紛争など、数多くの社会的課題に直面しています。コミュニティの経済状況、社会状況が安定していなければ、ファーストリテイリング(FR)グループの事業も成り立ちません。私たちは、世界のさまざまなコミュニティのなかで生かされている存在であり、その成長と発展に貢献することは、重要な責務だと考えています。

考え方

FRグループは、「2020年コミュニティエンゲージメント目標」を掲げ、課題解決に取り組めます。活動地域は、FRグループが出店している地域、商品を生産している取引先工場がある地域、グローバルな社会課題である難民・避難民問

題を抱えている地域の3つです。

私たちは、服をビジネスとする企業としての強みを活かし、国連機関やNPO、NGOなど、さまざまな団体や人々と協力し、コミュニティへの貢献活動を行います。

重要活動

- 「全商品リサイクル活動」の推進
- 難民支援
- ソーシャルビジネスの推進
- 社会の未来を担う若者への支援
- 従業員のボランティア活動
- 取引先工場の従業員を対象にしたエンパワーメント推進
- 雇用機会の創出

▶ 「全商品リサイクル活動」の衣料寄贈実績
(ファーストリテイリンググループ、2018年度末までの累計)



ソーシャルビジネスを展開する「グラミンユニクロ」



従業員による小学校での出張授業



障がいのある子どもたちを招いた「お買いもの体験」

2018年度の活動

[全商品リサイクル活動の推進]

難民などの服を必要としている人々に届けるため、18の国と地域のユニクロとジーユー店舗で、お客様のもとで不要になった服を回収し、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) や各地のNGOとともに届ける「全商品リサイクル活動」を実施しています。回収衣料のうち、支援衣料に適さない服は、廃棄物固形燃料 (RPF) としてリサイクルされています。これまでに、65の国と地域に約3,029万点を届けました。

[ソーシャルビジネスの展開]

重要な生産拠点でもあるバングラデシュにおいて、繊維産業の発展と社会課題の解決をめざし、ソーシャルビジネスである「グラミンユニクロ」を展開しています。FRのリソースを活かしながら、生産から販売までの全工程をバングラデシュ国内で実施し、収益は事業に再投資されています。2018年8月末現在、店舗数は15となりました。従業員の福利厚生制度の見直しや学生のインターンシップ支援などにも注力しています。

[子ども・若者への支援]

FRグループでは、各事業が地域や事業特性を活かした次世代支援を実施しています。

従業員が出張授業を行い、子どもたちが難民問題や服の役割について学び、服を回収する「届けよう、服のチカラ」プロジェクト、店舗に子どもたちを招いて行う「お買いもの体験」や「職場体験」など、「服」を活かす活動を展開しています。

5

従業員の幸せ

企業活動の主役は人です。ファーストリテイリングは、世界中で働く従業員一人ひとりが会社とともに成長し、いきいきと働ける環境づくりに努めています。人種、年齢、民族、宗教、性別や性的指向などにおいて「あらゆる差別を容認しない」という原則を貫き、多様性を尊重しています。そして公正で公平な人材登用、評価を行い、「個の尊重、会社と個人の成長」を実現します。



ファーストリテイリンググループでは、2018年8月現在、124,679人の従業員が働いています

5 従業員の幸せ

多様性を尊重する職場で 一人ひとりが持つ力を発揮し 会社とともに成長する

課題認識

世界各地で事業を展開するファーストリテイリング(FR)グループでは、多様な従業員が働いています。現地の法令の遵守や人権への配慮はもちろん、安心・安全な職場環境の確保に努めています。その上で、従業員が公平な機会を与えられ、成長するための教育を受け、公正な評価を受けることができる制度と企業文化が求められています。

考え方

FRは、一人ひとりの従業員が持つ力を発揮しながら会社とともに成長していくように「従業員エンゲージメント方針」を掲げ、「機会均等と多様性の推進」「従業員教育と育成」「従業員の健康と安心・安全な職場環境」を3つの柱として取り組んでいます。

女性活躍推進、障がい者雇用の促進、ワークライフバランスの推進に努め、従業員にさまざまな教育プログラムを提供し、グローバルに活躍するリーダー人材の育成に取り組んでいます。また、過重労働防止のための制度や従業員満足度を高める活動なども積極的に推進。ウェルネスセンターの設置により従業員の健康管理やメンタルケアなどを行い、「従業員ホットライン」の設置によって、問題の早期発見と職場環境の改善にも努めています。

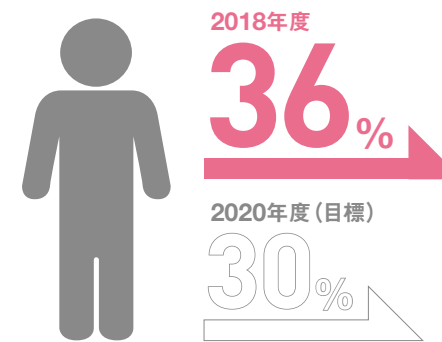
重要活動

- 多様性の尊重
- ワークライフバランス支援
- 従業員教育と育成
- 労働安全衛生への取り組み
- 公正な人事評価制度と報酬
- 従業員満足度を高める活動

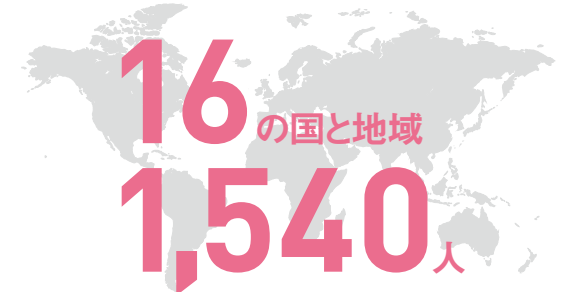


育児休業制度を利用中の従業員に対して実施する復職説明会「育休復帰前ガイダンス」

▶ 女性管理職比率 (ファーストリテイリンググループ、2018年度)



▶ 障がい者雇用数 (ファーストリテイリンググループ、2018年度)



▶ 育児・介護支援制度利用者数

(国内ファーストリテイリンググループ、2018年度)

	育児		介護	
	休暇 取得者数	時短制度 利用者数	休暇 取得者数	時短制度 利用者数
正社員	584	510	33	4
正社員以外	473	31	5	0
男性	9	1	2	0
女性	1,048	540	36	4
合計	1,057	541	38	4

2018年度の活動

[女性従業員の活躍を支援]

FRでは2015年3月に「女性活躍推進室」を設置。女性従業員が子育てとキャリアアップを両立させるための、人事制度の改革や教育の実施に取り組んでいます。たとえば、女性店長と経営陣や外部有識者が直接対話し、意見を交換する「Women'sダイレクトミーティング」や、管理職候補者を対象とした育成プログラムなどを実施しています。2018年度のFRグループ女性管理職の割合は、2020年度までの目標値30%を上回る36%に達しました。

[障がい者雇用の推進]

FRは、2001年に障がい者雇用を開始し、2012年度以降は国内ユニクロ店舗で「1店舗1名以上の障がい者を雇用」という目標を、新店を除いてほぼ達成しています。2018年の国内FRグループ障がい者雇用率は5.28%であり、日本の法定雇用率2.2%を大幅に超えています。また、グループ全体では16の国と地域で1,540人の障がい者が働いています。

[ワークライフバランス支援]

育児休暇・介護休暇制度、時短勤務制度に加えて、フレックスタイム制度や在宅勤務制度などの各種制度を設けています。2018年度には、企業内保育所の開設やベビーシッター補助制度も導入しました。出産・育児・介護といったライフイベントと仕事を両立するため、自身の職種やライフスタイルに合わせた柔軟な働き方ができるようサポートしています。

6

正しい経営(ガバナンス)

ファーストリテイリングは「世界No.1のアパレル情報製造小売業」を目標とした事業拡大とともに、お客様、取引先、株主、従業員をはじめとするすべてのステークホルダーからの要望に応える、迅速で透明性のある経営体制をめざしています。



山口県山口市にある、株式会社ファーストリテイリングの本社

考え方

ファーストリテイリング(FR)は、実効性のあるコーポレートガバナンス体制の構築に向けて、監査役制度を基礎とし、取締役の過半数を社外取締役とすることにより、取締役会の独立性を高め、監督機能を強化しています。また、執行役員制度の導入によって、経営の意思決定と業務執行の分離を図り、迅速な経営判断と業務執行を行っています。このほか、人事委員会、サステナビリティ委員会など、取締役会の機能を補完するための各種委員会を設けています。従業員の行動規範として制定した「ファーストリテイリンググループ コードオブコンダクト」にもとづく行動を全従業員に徹底するとともに、内部統制システムの適正な運用にも継続的に取り組みます。

重要活動

- 株主総会の実施
- 取締役会、監査役会、各種委員会の運営
- リスクマネジメントの推進
- 従業員の行動規範遵守の徹底

2018年度の活動

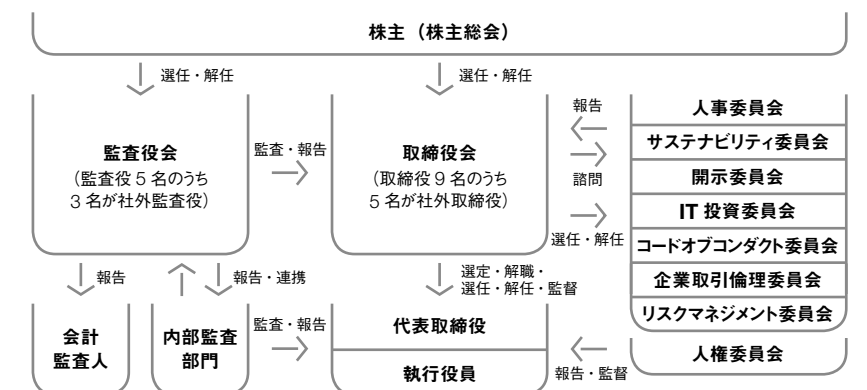
[人権委員会の設置]

FRグループでは、人権委員会を設置しています。委員会は、人権方針にもとづく人権尊重の責務が果たされ、その業務執行が適正に行われるよう、助言・監督します。たとえば、各ステークホルダーからホットラインに寄せられた、人権侵害事象の調査と救済措置への助言・勧告をします。また、各事業部門に対する教育啓発活動、および人権デューデリジェンスの実行への助言・提言を行います。

[行動規範の推進]

FRグループでは、従業員の行動規範「ファーストリテイリンググループコードオブコンダクト」を制定。確実な浸透を図るため、従業員に対し、確認・理解のための教育の実施と、厳守を誓約する書面へのサインを義務づけています。2018年3月には、より理解しやすい記載やグローバルな観点からの改定を行い、その内容を公開しました。

▶ コーポレートガバナンス体制 (2018年11月30日現在)



www.fastretailing.com